

人口 令和6年11月1日現在
住民基本台帳人口()は前月比

人口総数	34,707人(-30人)
男	16,979人(-6人)
女	17,728人(-24人)
世帯数	15,749世帯(+2世帯)

交通事故の状況 令和6年9月末現在
昨年比

	人身事故件数	傷者	死者
加古川市	630 (-17)	698 (-32)	1 (-2)
稲美町	90 (+1)	103 (+3)	1 (+1)
播磨町	73 (+13)	84 (-10)	0 (-2)

犯罪発生状況
9月の町内犯罪発生件数 16件
種別 (前年比+4件)

自転車盗	4
暴行	2
器物損壊	1
その他	9

令和6年犯罪累計 129件
※野添交番と本荘交番での件数を集計しています。
※件数は速報値のため、累計数と月毎の件数の合計が異なる場合があります。
※前年比は、令和5年9月との比較です。

特殊詐欺発生状況
9月の町内特殊詐欺発生件数 0件

おくやみ【10・11月受付分】	
氏名(敬称略)	町名 年齢
亀田 龍昂	(上野添) 49
久原 しずの	(大 中) 75

- P.1~2 表紙 播磨町のPRキャラクターがデビューしました/もくじ
- P.3~9 障がいのある人の暮らし/地域の皆さまにお伝えしたい中学生たちの部活動のこと/令和6年度全国学力・学習状況調査の結果と分析と考察/令和6年住民まちづくりアンケート調査 播磨町人権に関する住民意識調査結果報告
- P.10~11 TOWN NEWS あつまれ!絵の具大合戦/第72回播磨町美術展/姉妹都市ライマ市を播磨町公式訪問団が訪問しました (ほか)
- P.12~13 きゃんぱすだより 播磨南中学校/まちアド通信/保健師だより おげんきですか?/いいとこ検索/楽屋裏
※この後は、後ろページから読むと読みやすい横書き構成です。
- P.14~16 播磨町DE子育てしよう♡
「ニコニコさろん」「わくわくさろん」/乳幼児健康診査の予定/子育て・教育・子どものための相談/地域交流講座「みんなで飾ろうクリスマス!」/小学生対象講座「むるていかる♪おーけすとらと遊ぼう」~君もマエストロだ~/児童手当の振り込み/GO!GO!ブラックパネルシアター/ウッドブロックのクリスマス人形劇会/わんぱくはりまっこ (ほか)
- P.16~19 催しと施設
各種団体からのお知らせ/健康いきいきセンター/第9回加古ちゃんの3Rフェスタ/Z-1グランプリ2024/新春書き初めのつどい/弥生時代のはた織に挑戦しよう (ほか)
- P.19~23 Information
【催し】新年交礼会/「こころふれあう 町民のつどい」講演会
【暮らし】年末年始のし尿汲み取り業務の休業/資源回収運動奨励金【税と財務】12月は税込確保重点月間です/令和6年4月16日に発生した雹(ひょう)により住宅・家財等に損害を受けた人へ雑損控除のお知らせ/罹災証明書の発行について【保健と福祉】令和6年度一般不妊治療費・不育症治療費助成申請【健康づくり】はりま生き生き*健康ポイントの応募締切日は12月27日です!【保険と年金】12月2日以降、現行の健康保険証は新たに発行されなくなります (ほか)
- P.24~25 「こころのバリアフリー」を推進しています/各種相談
- P.26 年末年始のごみ収集日のお知らせ



12月3日~9日 障害者週間

問 健康福祉課障害福祉係 ☎079-435-2361

障がいのある人の暮らし



障害福祉サービスの中に、「共同生活援助(グループホーム)」があります。グループホームは、障がいのある人が入浴や食事の介助などの支援を受けながら、他の利用者と共同生活する住まいの場で、地域とつながりながら暮らすことができます。今回、グループホームを利用してある人の家族に、そこでの生活の様子を紹介していただきました。

◆障害者週間と、播磨町の取り組み◆

障害者週間は、障害者があらゆる分野の活動に参加することを促進するために『障害者基本法』により設けられています。

障害のあるなしに関わらず誰もがともに支え合い、暮らせるまちにするためには互いの人権と個性を尊重し、支え合うことが大切です。

播磨町では令和6年度に、「第4期播磨町障害者計画」「第7期播磨町障害福祉計画」「第3期播磨町障害児福祉計画」を一体的に策定しました。第4期障害者計画では、「障がいの有無によって分け隔てられることなく、誰ひとり取り残されない共生のまち」を基本理念として各施策を推進していきます。

グループホームの生活を通して 田中真理

うちの三男は25歳のダウン症で現在、播磨町のグループホームで生活をして2年目になります。20歳を過ぎた頃から将来を見据えて、親と離れて暮らす施設をゆっくり探そうと思っていたところ、ダウン症の友達がグループホームで楽しく生活しているを紹介していただきました。そこは普通の中古民家で男性4人が入居、生活支援員が1人常駐しています。掃除、洗濯、食器の後片付けなど、各自で行い、出来ない事はスタッフのアドバイスを受けながら自立に向けて生活していくのです。カラオケやゲーム、お花見やバーベキューなど季節のレクリエーションで楽しく過ごさせてもらって有難い反面、親として何とも言えない寂し

さを感じ、子離れできていない自分と闘っています。グループホームは集団生活なのでルールがあり、息子はそのルールを破ってしまうことが度々ありますが、その時の対応が素晴らしく、頭ごなしに叱るのではなくて、どうしてその行動をしたのか息子の気持ちを丁寧に聞いてくれます。そして、どのようにしたら息子が納得して目的の行動がとれるようになるか、そのプロセスをしっかりと取り組んでくださっています。知的障害があり言語コミュニケーションが困難な我が子、「親が守ってやらねば」と盲愛に傾きがちですが、信頼できるグループホームに巡り合えて親として何をすべきかを気づかせていただけた事に感謝です。このような質の高い施設が増えることを切に願います。

協働のまちづくり宣言

わたしたちは播磨町の未来に向かって、みんなで考え、みんなで話し合い、みんなの力を合わせて、人と人がつながるまちづくりを実現するため、「協働のまちづくり」を宣言します。(令和4年5月29日宣言)

- わたしたちは
- 自分たちのまちをみんなでつくる、参画と協働のまちづくりを行います。
 - 誰もがまちに興味をもち、楽しく地域活動に参加できるまちづくりを行います。
 - 誰もが情報にふれやすく、まちの動きがわかるまちづくりを行います。
 - ひとりひとりが手を取りあい、地域コミュニティに根ざしたまちづくりを行います。

